

地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 大分県の事例（2021年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 県内の「地域若者サポートステーション」、「ジョブカフェ」、「ハローワーク」と教育委員会、知事部局等が連携して実施体制を整備するとともに、高等学校内に学習スペースの設置や、NPOを活用した学習支援も実施。

【学習相談・学習支援の実施】

- 「おおいた学びのステップアップ協議会」を年3回開催することで、関係機関との情報共有を図り、利用者のニーズ把握や必要な支援に関する議論を行い学習相談・学習支援に活用。
- 大分市内4箇所を会場として、学習相談・学習支援を実施。市外については公民館等を利用した学習支援体制を整備。
- 個別指導を行うことで相談者の希望や習熟度に応じた支援を実施。また、利用者の交通費等の軽減のため、web会議システムやSNSを活用した指導体制を整備。

【広報の取組】

- チラシ・ポスターを若者が立ち寄りやすいコンビニや自動車学校、高等学校や中学校に設置。また、県の広報紙や広報番組SNS（Facebook等）の活用に加え、フリースクール、児童養護施設、教育支援センター等での事業説明を実施。

<取組の成果>

- のべ170名以上が事業を利用し、11名が高卒認定試験に合格を果たした。（科目合格を含む）

<今後の取組>

- 利用者の交通アクセス等に課題があるため、訪問型での実施やSNSの活用、サテライト会場の充実等を目指す。
- 高等学校等で事業の周知を行い、高校中退前に対象者に関する情報の捕捉を行う。
- 関係機関との連携体制を強化し、日常的に情報交換できる環境を整備するとともに、高卒認定試験合格後の就職や進学に対応できる仕組み作りも促進する。